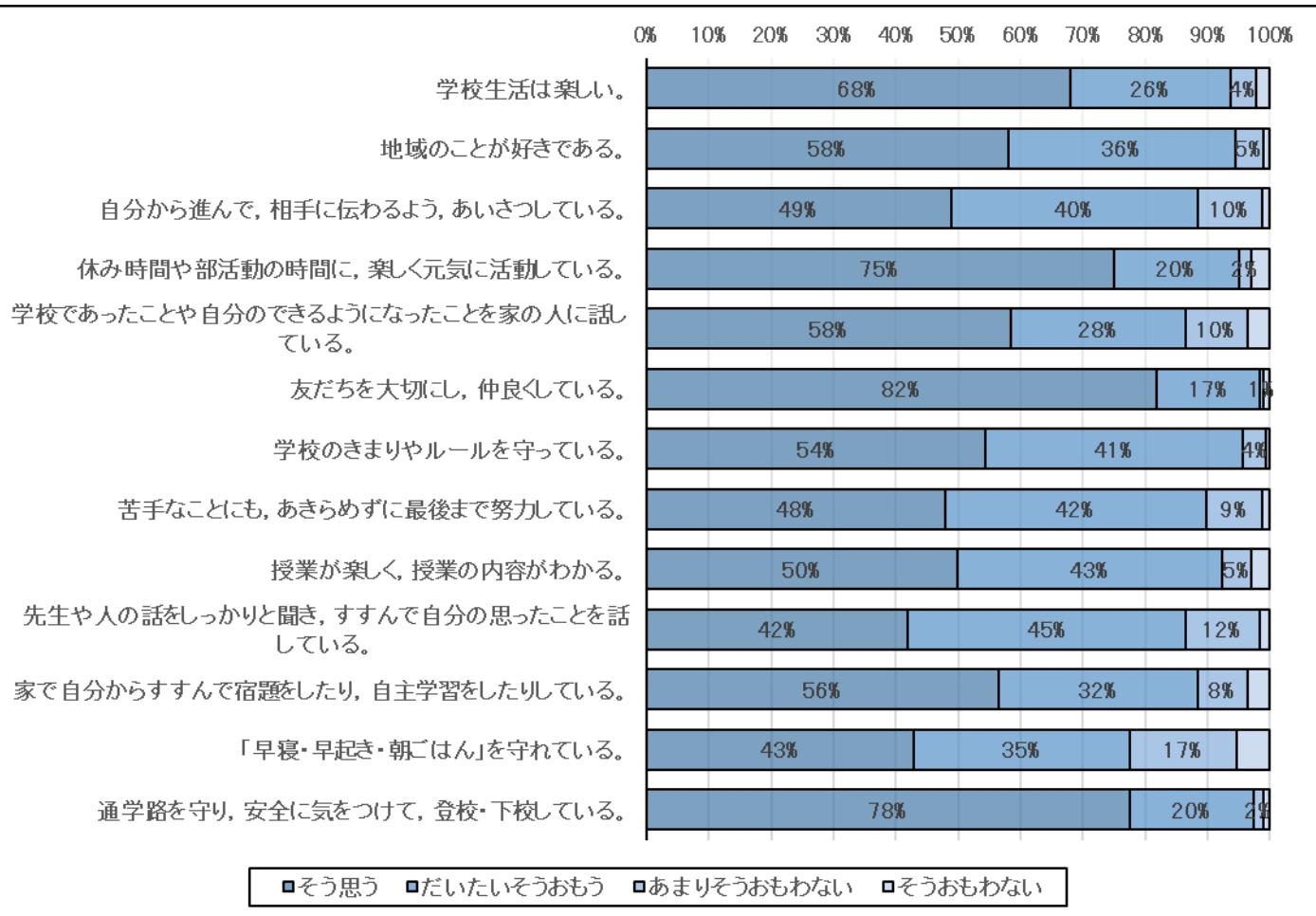


## 令和3年度後期 紫野小学校教育評価アンケート集計結果のご報告

多くの皆様方にご回答いただき、ありがとうございました。b b 集計結果についてご報告させていただきます。

## 【児童自己評価】



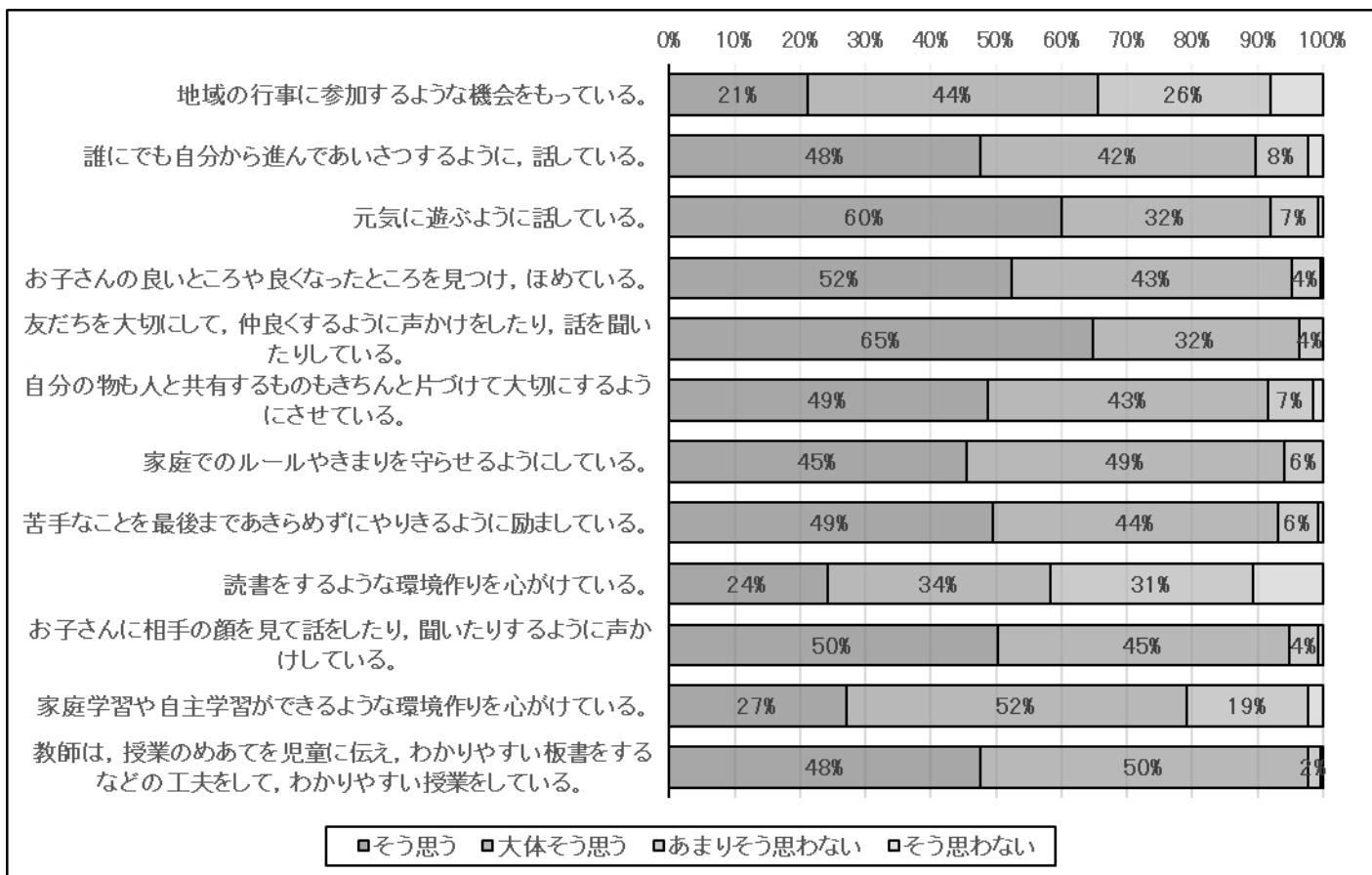
## &lt;考察&gt;

「そう思う、大体そう思う」を合わせて95%を超えていたのは、「友だちを大切にしている(99%)」、「通学路を守り、安全に気をつけて登校・下校している(98%)」、「学校のきまりやルールを守っている(95%)」、「休み時間や部活動の時間に、楽しく元気に活動している(95%)」の項目です。これらの結果からは、子どもたちが友だちを大切にしながら、元気いっぱい活動している様子がうかがえます。また、学校のきまりやルール、さらには通学路などもしっかり守りながら、安全に過ごしている様子も垣間見ることができます。

後述しますが、この姿はまさにご家庭で大切にされている事柄とピッタリ重なります。お家の方が、優しさや思いやり、和の心などを、子どもたちに呼びかけ育んでおられるのだと思います。同時に、紫野小学校でも、人権についての学習はもとより、生活科や総合的な学習の時間を中心に、「人、もの、こと」との繋がりや関わり合いを大事にする学習を重視してきました。また、しなやかな道徳教育の実践にも取り組んできました。子どもたちの姿は、家庭、学校の取組の調和だといえます。

一方、自分から進んであいさつすることや早寝・早起き・朝ごはんの実行については、まだまだ課題が残ります。学校でも、引き続き「あいさつ運動」の実践や生活調べ、保健の取組にも力を注ぎたいと考えています。また、学習の場においては、「話すこと・聞くこと」の重視とともに、子どもたちが、「よくわかる」と実感できるような授業が構築できるよう研鑽してまいります。

## 【保護者学校評価】



### <考察>

「友だちを大切にして、仲良くするように声かけをしたり、話を聞いたりしている（97%）」、「お子さんに相手の顔を見て話をしたり、聞いたりするように声かけしている（95%）」「お子さんの良いところや良くなつたところを見つけ、ほめている（95%）」等の結果から、日頃より、ご家庭において、子どもたちとの温かなコミュニケーションを通して、友だちの大切さや互いに違いや良さを認め合うことの尊さを伝えていただいている様子が感じ取れます。また、「褒めること」は、自己肯定感を育むことへつながります。これらは、私たち大人が社会の中で重視しなければならないこともあります。

一方、「地域の行事に参加するような機会をもっている（65%）」、「読書をするような環境作りを心がけている（58%）」の数値については、次のように考察します。前者は、コロナ禍における自粛が、大きく影響しています。その中にあって、子どもたちのためにと、工夫しながらイベント開催に尽力いただいている方々の思いや実行については、素晴らしいと思います。まだまだ制限のある中ですが、教職員も含め「地域行事への参加」を促したいと考えています。次代を担う子どもたちには、地域コミュニケーションの大切さを伝えたいと思います。

「読書」についての環境作りは、とても大切なことです。GIGA構想のもとで、ICT活用は重要なのですが、書物に触れ、親しみ、向き合うことにより、思い考える力や感性が育まれるのも事実です。学校においても、図書室の利用や読書時間の確保、さらには読書ノートの活用に努めてまいります。

## ○ おわりに … 「一歩ずつ、一歩ずつ」

「あいさつ」、「こつこつ努力」、「ぱちぱち拍手」、「感謝」の実践について、日頃から、子どもたちに働きかけています。何事もそうですが、一朝一夕に事が成就するわけではありません。子どもたちの健やかな成長のために、効果的なサポートやエスコートができるよう、教職員一同、全力で粘り強く学校教育の推進に当たってまいります。保護者の皆様には、今後とも、ご理解、ご協力の程、よろしくお願ひいたします。